

## ( 1 ) 地域における子育て支援機能の充実について

### 想定課題

新都市は21世紀の都市づくりのモデルとなることが望まれるが、子育て支援・健全育成の面ではどうあるべきか。

### 対応方向

国会等の移転に伴う人口増加は、国会都市が建設される第一段階で約10万人、さらに、数十年をかけて約56万人と試算されており、人口構成は、生産年齢層が中心となることから、子供の占める割合も高くなるものと思われます。

21世紀の本格的少子・高齢社会を支える子どもたちに対する健全育成機能の充実を考えると、新都市の整備を契機として、子育て支援・健全育成の面からの新たな機能を持った、「子育て先進都市」を地域全体で構築することが可能であり、また必要であると考えます。

たとえば、新都市は那須地域の自然を生かした緑の多い街であり、住宅の密集地域は少ないものと考えられることから、児童の屋外での緊急時等には全ての家庭が自分・他人の児童に係わりなく対応・受入れをする、という地域住民全体で「子育て・健全育成」を行える意識づくり・体制づくりが必要です。

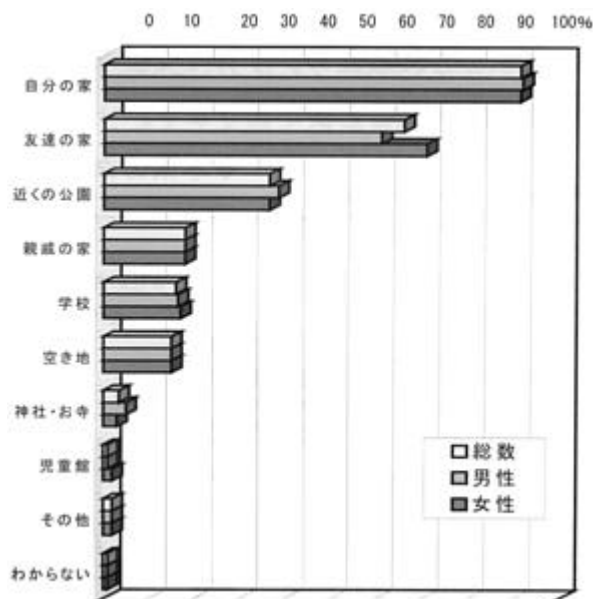
また、少子・高齢化の面からは、児童と高齢者が交流する場を確保し、交流の中から、伝統的遊びや物語・童謡等を児童に伝え、それが児童の健全育成と併せ、高齢者の生きがいにつなげることも可能です。

その他、母子保健をはじめ「子育て支援・健全育成」を多角的に展開していく必要があります。

### 放課後の遊び場

(3才から小学校3年生までの子供を持っている方に)

問 あなたの3才から小学校3年生のお子さんは、学校や幼稚園・保育園がおわったあとどのようなところで遊んでいますか。いくつでもあげてください。



「とちぎ子どもプラン」より